



▶お目当ての鯛を吊り上げこの笑顔



泊まって天草を体験!
アクティブな天草2019

天草宝島観光協会本渡支部が主催する「アクティブな天草」。天草を満喫したい人向けの旅プランで、宿泊がセットになっています。体験メニューは、SUPやシュノーケリング、鯛釣り体験など海のレジャーがズラリ。

6月28日には、宿泊施設の関係者らが二江漁港を出港し4時間の鯛釣りを体験。初めて挑戦したホテルの女性従業員は、「意外と簡単に釣れてビックリ。お客様にぜひ勧めたい」と話していました。

みんなで楽しみながら認知症予防

あまくさカレッジ地域講座



▲講師の歌うリズムに合わせて手を動かす参加者

6月24日、福連木地区コミュニティセンターであまくさカレッジ地域講座が行われ、住民10人が脳トレにチャレンジしました。

「元気に楽しく自分らしく生きる脳トレ」をテーマに、脳若トレーナーの谷口淳一さんによる講話や短期記憶のトレーニング。音楽講師の松下まきさんの歌に合わせて手を動かすリズムトレーニングに取り組み、会場は笑顔と歓声で賑わいました。

みんなで明るく健康づくり

栖本町ミニバレー大会



▲声かけあって楽しくバレー

6月16日、栖本中学校で栖本町ミニバレー大会があり、10チーム100人が熱戦を繰り広げました。健康づくりと町民同士の親睦を目的に毎年行われているもので、試合は和気あいあいとした雰囲気。

50歳代とフリーに分かれ試合に臨んだ参加者は、「運動不足も解消でき、心も体もリフレッシュできた」「終わってからの反省会で活躍します」などと話していました。

プロの演奏者がやってきた!

こども音楽会



▲プロの演奏を楽しんだ園児たち

6月29日、河浦町の一町田保育園でプロ演奏家による室内楽団ゾリス・ドライエックを招いて「こども音楽会」が開催されました。音楽に親しみ心豊かに育てて欲しいと同保育園が崎津保育園と合同で実施したもので、ドラムにマリimba、サクソを使って「ドラえもん」など12曲が演奏されると自然と手拍子が。最後は、子どもたちに人気の「パプリカ」を保護者らとともに130人で歌って踊り楽しみました。

お帰り! WANIMA笑顔あふれた地元凱旋ライブ

WANIMA GoodJob!!ReleaseParty天草の乱

~「崎津集落」世界遺産登録1周年~

7月6日、天草宝島親善大使のWANIMAによる待望の地元凱旋ライブが開催され、会場の大矢崎緑地公園にはファン1万5千人が集まりました。

地元の人に自分たちの音楽を楽しんでもらいたいとの思いから、一般販売を前に市民や島民向けにチケット販売が行われた今回のライブ。地元の有志らがその思いに応えようと実行委員会を立ち上げお祭り広場を企画しました。子どもたちによる歌やダンス、高校生のハイヤ踊りにフォトコーナーなどにはチケットを入手できなかった人も集まり、ライブ前から会場は大盛り上がり。

WANIMAへのインタビューやライブの模様は、次号以降の特集でご紹介します。





各地の話題はホームページのトピックスでチェック!!

世界のアンモナイトが大集結！ 御所浦白亜紀資料館特別展



▲展示品に見入る来場者

御所浦白亜紀資料館では9月1日まで「世界のアンモナイト」と題した特別展が開催中です。6,600万年前まで世界中の海に生息していたアンモナイトの化石展示や化石採集体験、アンモナイト館などがある牧島への周遊バスも運行されています。恐竜絵画コンテストの入賞作品も展示されており、7月13日の特別展初日には、市内の子ども会など103人が来場し展示品に見入っていました。

新庁舎に響いた古楽器の調べ 西洋古楽器のミニコンサート



▲演奏を披露した「コレジヨの仲間」

7月11日、市役所新庁舎で西洋古楽器のミニコンサートがありました。演奏を披露したのは地元の古楽器演奏グループ「コレジヨの仲間」。同グループは、フィリピンの北ルソン日本人会から招待を受け、7月21日と23日にフィリピンで演奏するのを前に市民にも親しんで欲しいと演奏会を開いたもの。代表の松村文美代さんは、「日比友好イベントで演奏できるのは光栄なこと。崎津集落もアピールしてきます」と話していました。

夏だ!! 茂串ビーチへ行こう 茂串海水浴場海開き



▲自慢の白い砂浜と透明度抜群の海

九州内でも屈指の透明度を誇る牛深町の茂串海水浴場。7月1日に海開きとなり夏の観光シーズンがスタートしました。地元の人が事前に海岸を清掃し受け入れ準備も万端。海水浴客も増加傾向にあり、去年は約13,000人が訪れています。7月15日の海の日、栖本町から来た家族連れは、「綺麗だと聞いて初めて来ました」と話し、白い砂浜から海へ駆け出していました。

映画製作から地域活性化へ連携 京都造形芸術大学と連携協定



▲協定書を手に見せる
(左から) 中村市長、尾池和夫学長、
小山薫堂副学長

7月5日、市は京都造形芸術大学(京都市)と観光振興や人材育成で協力していく連携協定を結びました。同大学副学長の小山薫堂さん(本市出身)がプロデューサーを務め、天草でロケが行われた映画「のさりの島」が縁となった本協定。今後は同大学の専門技術を活かした市のPR活動や学生同士の交流で人材育成を図るなど、さまざまな分野で連携し地域活性化につながることを期待されます。

夜空に咲いた大輪の花 さざ波フェスタ2019

7月14日、有明町のリップランド一帯で「さざ波フェスタ2019」が開催され、市内外から約5千人が来場しました。砂のプールにサンドアートの展示、ステージイベントなど盛りだくさん。最後に海上花火が打ち上がると来場者から大きな歓声があがっていました。家族で楽しんだ人は、「この花火を見ないと夏が始まらない」と話していました。サンドアートはお盆まで楽しむことができますので、ぜひご覧ください。



▲海上から打ち上げられた1,500発の花火



地域おこし協力隊
としあき
佐藤 俊亮さん

さざ波フェスタは有明で最も盛り上がる夏の一大イベント。私にとっては2度目ですが、ゲストライブが豪華。今年Do As Infinityを呼ぶことができたのも、このイベントを皆さんが続けてきたからこそ。

町のお薦めは、晴れた日の有明海と空の青さ。庭先や家の中など至る所にカニがいて海の近さを実感しています。海の幸だけでなく柑橘類など山の幸も都会と一味違います。潮風を感じながらのまち歩きもできますので、ぜひ歩いて町の良さを感じてください。



倉岳の大自然を満喫 天草Xアスロン2019



▲倉岳えびすビーチをスタートした参加者

7月14日、「第8回天草Xアスロン2019」が開催され、国内外から約150人が参加しました。天草の自然の素晴らしさや環境保護の大切さ、アウトドアスポーツの魅力を伝えたいと同大会実行委員会が主催したもの。シーカヤックやスタンドアップパドルボード(SUP)、山の中を駆けるマウンテンバイク、トレイルラン、パラグライダーの4種目で同町の陸・海・空を体感しつつ暑いレースを繰り広げていました。



▶月足さんの伴奏で「翼をください」を合唱

いのちの音色を響かせたい 新和中学校で教育講演会

6月20日、新和中学校で月足さおりさんを招いて教育講演会がありました。球磨郡あさぎり町出身の月足さんは、生まれながらの骨の病気で左手だけで演奏活動をしています。生徒や保護者ら約80人を前に病気のことやピアノを弾くことを通した人生観などを話し、それにまつわる6曲を披露。演奏を聴いた生徒は、「左手だけとは思えない美しい音色に感動しました」と話していました。